

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

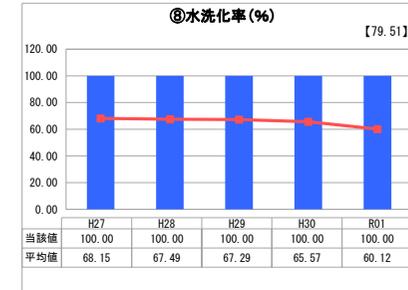
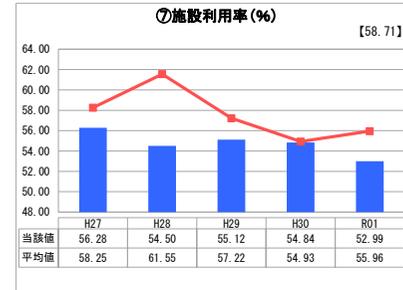
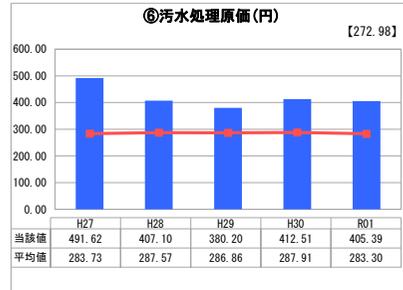
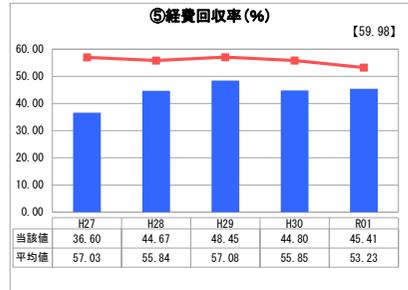
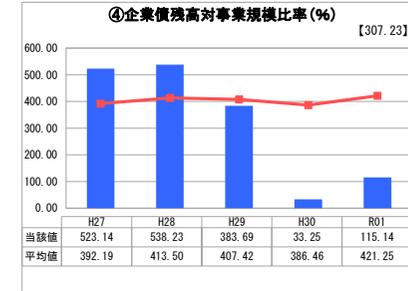
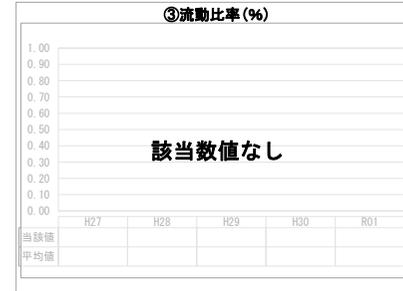
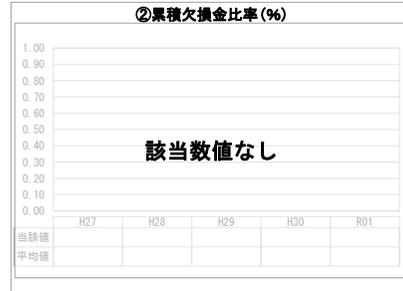
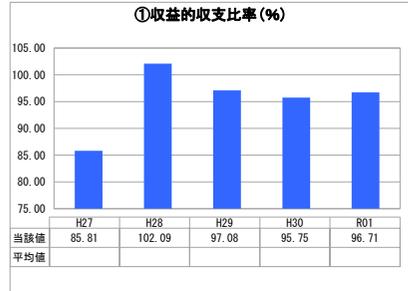
熊本県 玉名市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	0.95	100.00	3,613

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
66,223	152.60	433.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
622	20.40	30.49

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

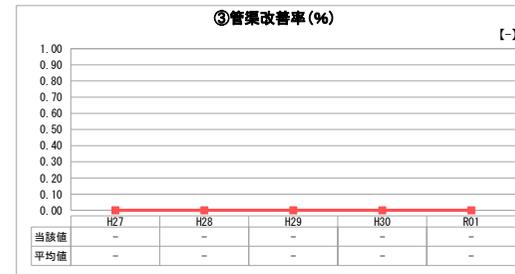
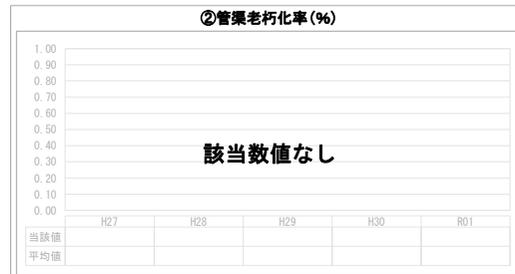
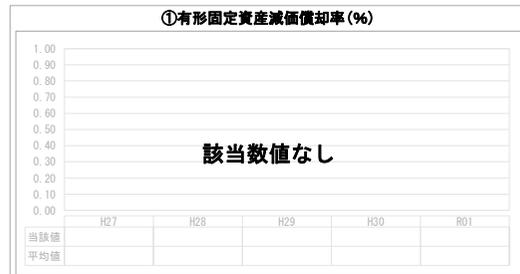
### 1. 経営の健全性・効率性について

- ・収益的収支比率については、100%を下回っている状況で、使用料収入等の増加に比べ維持管理費や地方債償還金の増加が大きいことが比率低下の要因となっています。
- ・企業債残高対事業規模比率は類似団体及び全国平均値に比べ低いものの、令和元年度は償還額以上の借入を行った影響により前年度より悪化しています。
- ・経費回収率については、類似団体及び全国平均値より低い水準にあり施設規模及びコスト水準に対して使用料収入の水準が見合っていない状況にあるため、収益性を改善させるには抜本的な施策が必要な状況であります。
- ・汚水処理原価は、年間有収水量の増加に比べ、汚水処理費の増加が大きいため高い数値となっています。類似団体との比較でも悪い状況にあります。
- ・施設利用率については、類似団体及び全国平均値より低い状況です。
- ・水洗化率については、類似団体及び全国平均値を大きく上回り100%です。

### 2. 老朽化の状況について

- ・老朽化に係る課題は、検出されていない。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

- ・中長期的な視点から収入と支出のバランスを確保すべく、経営戦略を平成28年度に策定しました。今後、使用料収入の見直しの目途である3年ごとの見直し及びストックマネジメント計画の策定等投資計画の変更があれば随時見直しを行っていき、効率的な施設整備と適切な使用料水準及び接続助奨の推進により、将来安定した経営を継続できるように取り組んでいきたいと考えています。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。